



Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway リリース 5.3 リリース ノート

2004 年 11 月 3 日

このリリース ノートでは、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の注意事項などについて説明します。このリリース ノートは、『Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Administrators Guide』リリース 5.3 とあわせてご利用ください。

このリリース ノートの内容は、次のとおりです。

- [システム要件 \(p.2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 製品の互換性 \(p.2\)](#)
- [警告 \(p.3\)](#)
- [関連資料 \(p.4\)](#)

システム要件

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway リリース 5.3 のシステム要件は、表 1 のとおりです。

表 1 Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のシステム要件

システム	要件
Cisco Media Convergence Server (Cisco MCS)	使用できる Cisco MCS のバージョン <ul style="list-style-type: none"> • JRE 1.4.2_04 • OS Image 2000.2.5.4 • OS Service Release 2000.2.6sr4 • OS Upgrade 2000.2.6 • Microsoft Windows 2000 Server
Microsoft Windows 2000 Server 以降の Windows サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 2000 Server 以降 • スタティック IP アドレスを使用した Cisco MeetingPlace Audio Server との TCP 接続 • ハードウェア： <ul style="list-style-type: none"> - 64 MB 以上の RAM - 15 MB の空きディスク容量 + 100 MB の追加空き容量（添付ファイルや通知などの一時ファイル用） - 233 MHz Pentium II プロセッサ
Cisco MeetingPlace Audio Server	Cisco MeetingPlace 2000.2 リリース 5.3 以降をインストールし、Cisco MeetingPlace Notification Option および Cisco MeetingNotes Data Option とあわせて使用する。これらのオプションがないと、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway はミーティング通知や添付ファイルを配布できない
オプション キー	Cisco MeetingPlace システム オプションを、使用中の E メールシステムに対して有効に設定する。Microsoft Mail、Microsoft Exchange、およびその他の MAPI 準拠の E メールシステムの場合、オプション キー名は E-Mail Gateway (SMTP) である
E メール システム	SMTP ベースのサポート対象メールシステム (Microsoft Exchange や Lotus Domino など)
認証オプション	使用中の SMTP メールサーバで認証が必要な場合、E メールシステム上に Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する許可アカウントを作成する
個人の E メール アカウント	個人の E メール アカウントを用意する。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をテストする際に E メール アカウントが必要になる

Cisco MeetingPlace 製品の互換性

Cisco MeetingPlace 製品のインターオペラビリティについては、次の手順に従って『Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace』リリース 5.3 を参照してください。

- ステップ 1** Web ブラウザを起動して、アドレス欄に次の URL を入力します。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm>
 Cisco MeetingPlace Audio Server のページが表示されます。

- ステップ 2 **Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3** をクリックします。Cisco MeetingPlace Audio Server リリース 5.3 のページが表示されます。
- ステップ 3 **Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace 5.3** をクリックします。Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace リリース 5.3 のページが表示されます。
- ステップ 4 **Introducing Cisco MeetingPlace > Cisco MeetingPlace Product Compatibility Matrix** の順にクリックします。

警告


Bug Toolkit を使用すると、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の注意事項に関する最新情報をオンラインで確認できます。**Bug Toolkit** を使用すると、特定の注意事項の確認や特定の製品に関するすべての注意事項の照会が可能です。

未解決および解決済みの警告は、リリース ノートには記載されていません。警告に関する最新情報は、新しいオンライン ツールである **Bug Toolkit** から入手できます。お客様は、必要に応じて障害についてお問い合わせください。

リリースに追加された新機能または拡張機能を確認したり、以前のリリースから修正された警告を調べたりするため、新しい Cisco MeetingPlace リリースが配布されたときは、照会を行ってください。

Bug Toolkit にアクセスするには、インターネット接続、Web ブラウザ、および Cisco.com のユーザ名とパスワードが必要です。

Bug Toolkit を使用する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 コンピュータ上で Web ブラウザを起動します。
 - ステップ 2 ブラウザのアドレス欄に次の URL をコピーします。
http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl
Enter を押します。CCO のログイン ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 3 CCO のユーザ名とパスワードを入力して、**OK** をクリックします。**Bug Toolkit** ユーティリティのページが表示されます。
 - ステップ 4 **Launch Bug Toolkit** ハイパーリンクをクリックします。
 - ステップ 5 特定の警告に関する詳細を検索するには、「Enter known bug ID:」フィールドに ID 番号を入力します。
Cisco MeetingPlace の警告をすべて表示するには、「Search for bugs in other Cisco software and hardware products」に移動して、Product Name フィールドに **meetingplace** と入力します。
-  (注) Cisco MeetingPlace は、最初の 3 文字 mee を入力すると表示されます。
-
- ステップ 6 **Next** をクリックします。Cisco MeetingPlace 検索ページが表示されます。
 - ステップ 7 キーワードを入力して、警告を問い合わせるフィルタを選択します。使用可能なオプションの一部またはすべてを選択できます。
 - ステップ 8 **Next** をクリックします。
Bug Toolkit は、問い合わせに基づいて警告のリストを返します。

関連資料

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway リリース 5.3 およびその他の Cisco MeetingPlace 製品の関連情報については、『Guide to Cisco MeetingPlace Conferencing Documentation and Support』を参照してください。この資料は、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>

この資料は、「関連資料」に記載されている資料とあわせてご利用ください。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語を使用しても、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0406R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.